

日本アロマ環境協会機関誌『AEAJ』 広告データ制作ルール

広告データ作成前に、必ずお目通しいただけますようお願いいたします。
不明な点がございましたら、機関誌制作編集室にお問い合わせください。

制作サイズ

- ・1 ページの場合…297mm(W) × 210mm(H)、CMYK すべての版に要トンボ
(断ち落としとして使用する場合は、外トンボ(判の 3mm 外側)までデータを作成すること)
- ・1/2 ページの場合…174mm(W) × 125.5mm(H)、トンボ(裁ち落としなし)

制作環境

- ・Macintosh 及び Windows において、以下のいずれかのアプリケーションで制作。
「Adobe Illustrator(イラストレーター)」
「Adobe Photoshop(フォトショップ)」
「Adobe InDesign(インデザイン)」
※いずれも CS4.0 まで対応
※最新バージョンで制作する場合は、必ず「CS4.0」にバージョンダウンしたデータを提出(ただしダウングレードに伴って、データやデザインの不具合が生じる可能性があるため、十分注意する)。

基本的な注意事項

- ①フォントは必ずすべてアウトライン化する。
(OCF/CID/OTF、ピットマップ/ATM、「詰め」の設定などによって、文字詰めが異なったり、文字化けが発生することがあるため、必ずアウトライン化にチェックすること)
- ②1ページ広告では、必ず CMYK すべての版にトンボをつける。
(「オブジェクト」→「トンボ(またはトリムエリア)」→「作成」でつくったトンボは不可。
必ず「トリムマーク」で作成すること)
- ③1/2 ページ広告ではトンボはつけず、正確に指定寸法(174mm(W) × 125.5mm(H))に収める。
- ④不必要なオブジェクト、アンカーポイント、出力しないレイヤー、ガイドラインは全て削除。
- ⑤プロファイルが埋め込まれている場合、そのプロファイルのタイプに関わらず、印刷会社のプロファイルで出力作業を行う。

使用画像

- ・リンク、貼り込み画像データの解像度は、実寸で次の数値を目安に設定すること。
 - 写真…300dpi
 - ロゴマーク等…1200dpi
 - 画面のキャプチャーデータ…72dpi
- ・フォーマット形式は、EPS または TIFF のどちらかを使用(JPEG は不可)。
- ・カラーモードは CMYK を使用
(RGB モードの画像は、CMYK モードに変換すること。ただし変換後は、RGB と CMYK の色域の違いから、色味が変化するため、必要に応じて補正、画像を十分に確認して保存する)

使用色

- ・リンクファイルも含め、必ず CMYK、グレースケールのみ使用。
- ・RGB、スポットカラー(カスタムカラー)は使用厳禁。
(RGB オブジェクトに関しては、書類のカラーモードが CMYK モードの場合、アプリケーションのカラーエンジンで強制的データフォーマット使用色に CMYK 変換されてしまうので、意図しない色味になる恐れがあります。ご注意ください)

その他、制作上の注意

- ・線は 0.3 ポイント以上の太さに、ヌキ文字は 12Q 以上の大きさにすること。
- ・BL100%はオーバープリントで処理。スミ抜き合わせの指定は BL99%で指定すること。
(色指定されたオブジェクトはすべて抜き合わせで処理)
- ・ケイ線は、塗りで色を入れないこと。
(プリンタでは出力できてもイメージセッタ等の解像度の高い出力機で出力した場合、線が消えてしまうため。
- ・オブジェクトの色指定が 1%刻みのもの、あるいは 5%以下のものは、印刷物として正確には再現できない場合があるので注意する。
- ・細かいケイ線の色アミ指定は版ズレを起こしやすいので注意する。
- ・リンクしたファイルが揃っているか、リンクがはずれてないか確認する。
(市販、またはフリーウェアの画像収集ユーティリティの使用を推奨)

Windows 環境における Illustrator、Photoshop について

- ・ファイル名は文字化けが起こりにくい英数半角を使用する。
(Windows で付けた日本語ファイル名は、Mac 上で文字化けしたり、リンクファイルの名前が変わったり等の現象が起きます。また、Windows で認識される文字数と Mac

上で認識される文字数に倍近くの差があるので、ファイル名の文字数も注意)

・Illustrator ではフォントをアウトライン化する。

(アウトライン化後は、「書類情報」あるいは「フォントの検索・置換」によって、必ず確認すること)

広告データ送稿前の注意

- ①あらかじめウイルスチェックを行うこと。
- ②必ずデータのバックアップをとってから入稿すること。
- ③入稿媒体(CD-R など)には、不要なファイル(作成途中のファイル等)を含めない。
- ④出力に必要なリンクファイル、配置画像などは、出力ファイルと同じフォルダにまとめて保存すること。
- ⑤厳密に出したい色味がある場合は、PostScript プリンタからプリントアウトした色見本を添付すること。
(一般的なインクジェットプリンタや、PostScript 非対応のレーザープリンタによる出力見本は、印刷所との出力環境の違いにより、色の見本にはなりえないので注意)
- ⑥入稿後は、どんなデータの変更(CMYK 値の変更による色の調整、グラデーション、テキスト文字の修正など)も、当協会、本誌編集制作会社、印刷会社いずれにおいても一切行いません。あらかじめデザイン会社、データ出力サービス会社などで色校正を行った後、入稿するようおすすめします。

2013年 12月改訂

公益社団法人 日本アロマ環境協会 会報誌編集制作室